

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 10 月 24 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270401302		
法人名	社会福祉法人 寿光会		
事業所名	グループホーム恵		
所在地	長崎県諫早市有喜町593番地2		
自己評価作成日	平成 24 年 10 月 24 日	評価結果市町受理日	平成 24 年 12 月 3 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 一階
訪問調査日	平成 24 年 11 月 9 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>施設の前には広大な海を一望できる高台にあり自然環境に恵まれた環境の中、畑での野菜作りやプランターの花植えなど、土に親しみながら季節を感じてもらえるよう努めている。グループホームの理念として「思いやり・助け合い・協力し合っ て、日常生活を送ります」を心がけ、入居者の訴えや思いを充分聞き、一人ひとりのペースに合わせた支援をすることで、安心した生活が継続できるように努めています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>医療機関に隣接した事業所は本人はもちろんのこと、家族からも厚い信頼と安心を得ており、介護経験の長い職員の観察力と、高い専門性でその人がその人らしく安心して過ごせるよう個々の生活を重視した支援がなされている。また、管理者は長崎県グループホーム連絡協議会で認知症の事例発表や、キャラバンメイトの活動を通して認知症への啓蒙活動に熱心に取り組んでおり、職員の育成にも力を入れている。日々の生活の中で静かに利用者 に寄り添う職員の笑顔からもホームの穏やかな雰囲気と安らぎを感じる事ができ、今後も益々期待できるホームである。</p>

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設の理念の勉強会 施行し、全職員で理念について考え見直し、周知徹底し実践に繋がっています。	一昨年より、支援の振り返りとして自己評価を行い「利用者を家族として考えていこう」と具体的な理念の実践に繋がるよう職員全体で取り組んでいる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の中学校・保育園の慰問や法人行事で夏祭り・運動等を通し交流の機会を設けています。	法人の行事では地域との交流の場ともなっており、普段でも散歩途中に会話を楽しむ姿がある。地元中学生のボランティアも受け入れ世代間交流や認知症への理解への取り組みもある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター養成講座を地域で開催し認知症の症状・行動・接し方等を説明することで認知症の理解を図っています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、サービス内容や利用者の状況報告及び活動報告を行っている。家族の声を聞く機会になり、サービスの向上に活かしています。	交代で家族出席がある運営推進会議は、事業所内の運営や方針の理解の場ともなっており、行政からも助言や情報交換、また情勢によって問題提起などもあり、大変有意義なものとなっている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者に運営に関して、助言、指導を仰ぎ利用者の生活の質を高めています。また介護相談員の訪問もあり、サービスの質向上にも取り組んでいます	管理者は諫早市グループホーム連絡協議会での役員も務めており、随時助言を求め、問題解決に努めている。市の介護課とともに認知症キャラバンメイトの運動にも参加しており、地域と触れ合いながら認知症への理解への活動を行っている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の重大性については話し合いなどをして職員全員が理解し、統一した対応がでできるようにマニュアルの作成をしています。</p>	<p>法人の年間行事として虐待に関する研修を行い、不穏時や問題行動についての対応や知識を深めている。事業所内でも職員を対象にアンケートを実施し、認知症に対する理解度を確認することで、その方に合った言葉かけ等、ケアの統一を図る取り組みを行った。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ会議で学ぶ機会を持ち、お互いに注意しあいながら、身体的虐待、言葉使い等に、十分気を配り虐待防止に努めている。法人内の研修にも参加しています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ホームとして現段階では必要と思われる方がいらっしゃらない為、活用への支援はしていない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、事業所の取組みや支援できる範囲について説明すると共に、利用者や家族の不安に耳を傾け、分かりやすく説明をするよう心がけている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時には、必ず話す機会を設け、家族の意見（意向）を伺っている。運営推進会議への参加も呼びかけ、意見や要望を出していただいている。</p>	<p>運営推進会議への参加時や家族の面会を利用して家族の意見を聞き、希望に添えるように努力している。同時に事業所からの要望も伝え協力依頼し協働関係を築いている。毎年9月の敬老会では家族会を開き、意見交換の場を設けている。家族アンケートを実施し満足度の確認も行った。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的に会議を開催して意見を聞く機会を設け、管理者は職員の提案した要望をセクション会議に持っていき反映させている。</p>	<p>毎月職員会議を開き、業務内容や利用者について話し合いを行い、ケアの統一を図っている。利用者の重度化に伴い見守りが必要になってきた事から、調理の問題を全体で話し合い業務改善に繋げることもあった。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の勤務状況を把握し、随時業務の見直しを行い、働きやすいように職場環境の整備に心掛けている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>市G・H連絡協議会等の研修に積極的に参加している。法人内の研修にも受ける機会を設けている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市G・H連絡協議会に加盟し、研修の参加や職員の交流研修を行ない、グループホーム全体の質の向上に努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の不安な思いを十分理解し、寄り添う姿勢を示し、話やすい雰囲気作りに努め、じっくり時間をかけ傾聴するように努めています</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の不安な思いに寄り添い、家族の意向に十分添えるサービスが提供できるように時間をかけ面会を行っています</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人や家族が必要とされている事に対して、専門職員として支援をケースバイケースで対応できるように努めています</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の出来る事まで奪ってしまわない様に、出来る事はやって頂く、相手を思い寄り添いながら生活を送る家族のような関係作りに努めています</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時は本人や家族と職員と一緒に日常の様子を話す事によって、家族である事を意識して頂けるような関係作りに努めています</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族以外の方も面会は、いつでも出来る雰囲気作りに努めています。利用者の様子や状態を毎月ケアプランと一緒に報告して信頼関係を築くように努めています。</p>	<p>地元のスーパーへ買い物に出かけたり、家族協力のもと自宅帰省や外出、外泊の支援も行っている。利用者の知人の床屋さんからの送迎協力を得、行きつけの理容室へ散髪に出かけることもある。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の対人関係のトラブルには十分配慮を行い、気の合う方が、好きな時に交流を持つ事が出来るように支援行っています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後は、入所時と同様に時間をかけて話しを行い、いつでも施設へ気軽に来て頂ける様な関係作りに努めています。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者の日常の何気ない会話等からも、本人が何を思い何を望んでおられるかを見極めるように心掛け、本人の立場に立ち話し合いを行っています。</p>	<p>アセスメント表として「わたしの大切なことメモ」を作成し、時間帯別の表情や楽しみ、喜び、わたしが伝えたいこと等を項目別に実際におしゃべりした言葉をそのまま書き込み情報共有を図っている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>わたしの「大切なこと」メモとして本人や家族から聞いた情報を得るなど、その方らしく生活を送って頂ける様に努めています。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>24時間支援記録に記入する事で、一人ひとりの状況の把握に努めています。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月1回全スタッフで、介護計画の見直しと、モニタリングを行っています。</p>	<p>毎月の職員会議でプランに関して意見交換を行い、作成している。年に1回家族参加のカンファレンスも実施し要望はプランに取り入れるようにしている。家族に書類を送付をしたところ介護に対する意向の記載もありプランに反映することができた。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>24時間支援記録に、アセスメントに沿ったケアが実施出来ているか記入し1ヶ月単位で見直しを行っています。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>近隣施設（福祉村）には医療法人・社会福祉法人があり、当施設は併設施設での入所が可能である為、状態の変化に合わせて対応できています。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>関係施設の慰問行事には参加させてもらい、当施設でもボランティア活動の受け入れを検討しています。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>隣接している病院のDrが月2回の定期健診実施しており、家族より希望があれば、一緒に話が出来よう支援しています。</p>	<p>細かく記載された看護記録と定期的な検診により適切な体調管理がなされている。他科受診は家族支援を基本としているが状況に応じて事業所支援もなされている。</p>	
31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調に変化があった場合は、随時状況報告を行い、必要に応じた早期に診療を受ける事が出来るよう連携体制を取っています。</p>		

32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、環境の変化による動揺や不安を抱えないように面会に努めている。情報提供書活用し情報の共有や密に情報を交換できるように努めています</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期について家族と話し合いを行い、施設としてできること出来ないことを説明し、本人と家族の望む生活が送れるように努めている。また近隣施設への入所が可能になり、連携体制とれています。</p>	<p>事業所の方針として医療行為は行わないことを事前に家族へ伝えており、身体的に無理が生じてきた場合はその都度状況報告をし、その方に合った施設への紹介をしている。家族も近隣施設への移動を希望する事も多い。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成し、隣接施設からの応援体制をとっている。G・H連絡協議会・法人内の研修会で、救命講習会を定期的に行い、全スタッフが受講するようにしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災避難訓練は年2回行い、災害発生時には、隣接施設からの応援体制をとっている。消火器・火災報知機及び自動火災通報装置の設備点検を行っている。</p>	<p>運営推進会議にも消防署の参加を依頼し事業所の現状を知ってもらおう機会としている。自衛消防隊を組織することで防災意識の向上に努め、夜間想定での避難訓練を年2回実施し、有事の際は隣接する施設からの応援体制も整っている。</p>	<p>近年の自然災害を考慮し、持ち出し品の整備（個人情報や備蓄品等）を行うと同時に、火災だけでなく自然災害の訓練を行うことでより万全な体制になることを期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の意思を大切に、誇りやプライバシーを損ねないよう努め、一人ひとりであった言葉がけに配慮している。毎日自己評価チェックを行い全スタッフに回覧する事でお互いに気をつけています	毎日の自己評価チェック項目に言葉かけや接遇マナー等の項目を作り、日頃からお互いに強い口調にならないように声かけを行っている。自己評価を行うようになってから自然にドアをノックして入室するようになり、意識の改善にも繋がった。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフ本位の考えを押し付ける事はせず、時間をかけてでも、ご自分で決定して頂く様に働きかけています。必要に応じ数名のスタッフで対応しています		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のその日の体調や気持ちなどを尊重して、自分のペースで生活できるよう柔軟な対応を心掛けている。ご希望される事をいつでも言ってもらえる関係作りができています		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事の時など、自分で着たい洋服を選んで頂きご希望される方には、化粧もしています。ご家族様の希望も聞き入れています		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家事手伝いの誘い掛け行い、負担にならない程度にスタッフと一緒に家事行っています。昼食はスタッフも一緒に会話しながら食べています	栄養士が調理した彩りのよい食事が並び、利用者にあった形態での食事提供がなされている。利用者の状態を見て配膳や食器洗いの他、時には包丁を握って下処理をお願いする事もある。食材の買い物は気分転換にもなり、楽しみにしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量を、支援記録に記入し摂取量の把握を行っています。嚥下状態に合わせ、トロミつける等対応しています		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケア施行しており、必要に応じ一部介助や全介助行っています。毎夕食後、入歯預かり洗浄行っています</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>支援記録記入を行い、排泄・排便チェックを行い時間誘導を行い、出来る限りトイレにて排泄できるよう支援行っています</p>	<p>日中は時間誘導をはじめ、利用者のしぐさや表情をみながら排泄のタイミングを見極めるなどもし、できるだけトイレでの排泄を促している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックを行い一人ひとりの排便パターンを記録しながら医師の指示のもと、個々に応じた下剤を用いコントロールを行なっている。リハビリ体操を取り入れて体を動かしてもらえるように支援している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>毎日入浴できる体制とっており、希望される時に入浴できます。入浴時間も決まっていないため、好きな時にゆっくり入浴して頂いています</p>	<p>希望があれば毎日の入浴も可能であり、拒否する場合は清拭や下洗浄など行い清潔保持に努めている。湯船での時間はゆっくりと過ごしていただき、職員とのコミュニケーションの場ともなっている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼食後居室に誘導を行い、1時間程度の昼寝促しています。就寝時間も決めておらず、希望される時間に誘導行って休んで頂いています</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬説明書をいつでも見れるように準備しており必要時確認等すぐ行えるようにしています。薬変更時は、連絡ノートに記入し確実に全スタッフが周知徹底行っています</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>畑や花壇を活用し、花植え等花を選ぶ段階から相談しながら行い、外に買い物に行く事で気分転換も兼ねています</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>帰宅願望のある方に対しては、家族や地域の方に協力依頼お願いし、希望される時は対応できるように協力体制とれています</p>	<p>天候や状況を見ながら季節の花を見物に出かけたり、お弁当を持参しドライブへ出かけることもある。普段から法人の売店へ菓子類の買い物に出かけたり、家族支援のもとで自宅へ帰省する事も日常的になされており気分転換ができています。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望される方には、自分で金銭管理して頂いています。その際スタッフの方でも記帳行い、家族への報告行っています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人が電話をかけたい時は、相手先の電話番号をダイヤルして相手呼び出す、必要に応じ代弁行っています</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には季節の花や観葉植物を置いて、居心地のよい生活空間を提供するよう努めている。リビングは広くスペースを取り、台所で調理する音が聞こえたり匂いも感じたりと家庭的な構造となっている</p>	<p>大きな窓からは温かな日差しが差し込み、ほのかに木の香りが残る廊下には職員手作りのしつらいがあり穏やかな様子が伝わってくる。ソファの座る位置やテーブルの席などそれぞれ決まった空間があり各々が家族の主役で安らげる雰囲気を感じられる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングで過ごす事を希望される方が多いので車椅子の接触事故や転倒事故を未然にふさぐように見守り行い思い思いに過ごして頂く様配慮行っています</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭での生活そのまま継続出来るように、使い慣れた家具等の持ち込みお願いしたり、必要に応じ施設で購入行っています	7畳ほどの居室は車椅子でもゆっくりと移動ができ、籐の椅子や洋服ハンガーの持ち込みもあり本人をはじめ家族も安心して寛げる空間がある。以前作った小物や作品などが飾られている居室もありその人らしい、安らぎを感じることができた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー設計を基本として、玄関から廊下や居室までは歩行器・車椅子の方が自由に移動できるようにしている。施設内の主要箇所の手すりを設置し自分の力で安全に移動できるようにしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない